

IBM TotalStorage NAS 300G
モデル G01 および G26



クイック・スタート・インストラクショ ン

IBM TotalStorage NAS 300G
モデル G01 および G26



クイック・スタート・インストラクショ ン

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM TotalStorage NAS 300G Models G01 and G26
Quick Start Instructions

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2002.5

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

IBM TotalStorage™ NAS 300G モデル G01 および G26 クイック・スタート・インストラクション

ステップ 1: 最初にお読みください

注意 :



安全上の注意



プロダクトを持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



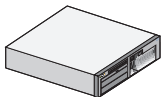
ラック・マウント装置の上に、重量が 82 kg を超える物を置かないでください。

注: 装置を目視検査して、配送中に損傷を受けなかったことを確認してください。未着品目や損傷品目がある場合は、IBM® 担当員に連絡してください。

ステップ 2: 開梱する

箱の中に入っているもの (モデル G01 および G26)

モデル G01



また
は

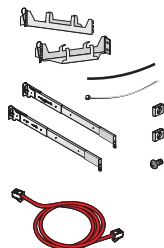
モデル G26



- モデル G01 用の電源ケーブル 2 本
- モデル G26 用の電源ケーブル 4 本

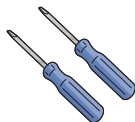


- 1 セットのドキュメンテーションには、次のものが含まれています: 安全上の注意 - 最初にお読みください、IBM TotalStorage Network Attached Storage 300G ハードウェア・インストール・ガイド、IBM TotalStorage Network Attached Storage 300G クイック・スタート・インストラクション、Rack Mounting Instructions、テンプレート、Product CD、Documentation CD。



- 各エンジンに付属してくる **1** セットのラック・インストール・キットには、次のものが含まれています: ケーブル管理アセンブリー、ケーブル・ストラップ、ケーブル・タイ、ケーブル・ナット、ねじパッケージ、スライド・レール、*Rack Mounting Instructions*。
- イーサネット・クロス・ケーブル **1** 本 (モデル G26 のみ)

お客様自身が用意するもの



- プラスのねじ回し **1** 本
- マイナスのねじ回し **1** 本



- ファイバー・チャネル・ケーブル **1** 本 (G01) または **2** 本 (G26) と接続説明書、およびネットワーク管理者からの IP 情報



- お客様のハードウェア構成に必要なイーサネット LAN ケーブル



- LAN 接続機能、Netscape 4.78 以上または Microsoft® Internet Explorer 5.0 以上、および Sun Java™ Plug-in 1.3 以上がインストールされた PC **1** 台

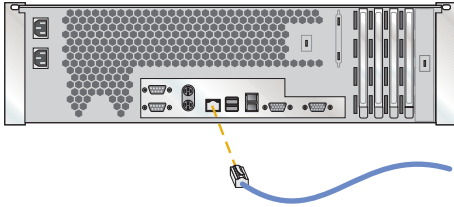
オプションのサービスおよび診断装置



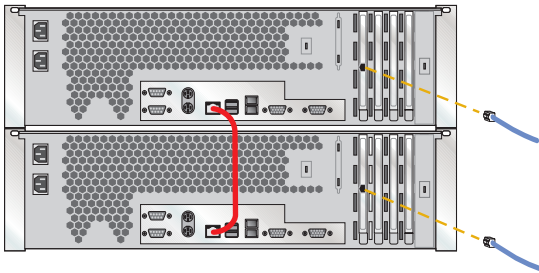
- **1** 組のモニター、キーボード、およびマウス

ステップ 3: アプライアンスをインストールして、ケーブルを接続する

1. それぞれのエンジンをラックに取り付けます。詳しい説明は、同梱されている *Rack Mounting Instructions* とテンプレートを参照してください。
2. **モデル G01 のみ:** ネットワーク・ケーブルをエンジンの背面にあるイーサネット・ポートに差し込み、次にネットワーク側に差し込んで、エンジンをネットワークに接続します。



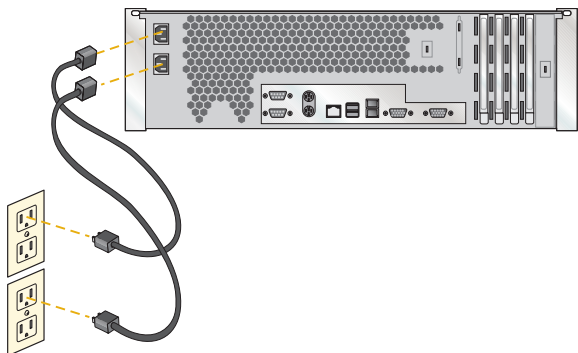
3. **モデル G26 のみ:** イーサネット・クロス・ケーブルを 2 つのエンジンの背面にあるイーサネット・ポートに差し込んで、その 2 つのエンジンを接続します。ネットワーク・ケーブルを各イーサネット・カード上のポートに差し込み、次にネットワーク側に差し込んで、それぞれのエンジンをネットワークに接続します。ネットワークへの接続に関する詳細は、ハードウェア・インストール・ガイド を参照してください。



4. お客様の特定のハードウェア構成に応じて、他のケーブル (ファイバー・チャネル、イーサネット、またはギガビット・イーサネット) を接続します。詳しい説明は、ハードウェア・インストール・ガイド を参照してください。

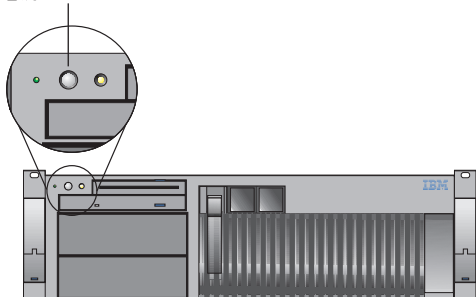
ステップ 4: 電源オンする (G01 のみ)

1. 電源ケーブルをエンジン後部のコンセントに差し込み、次に異なる給電部のコンセントに差し込みます。



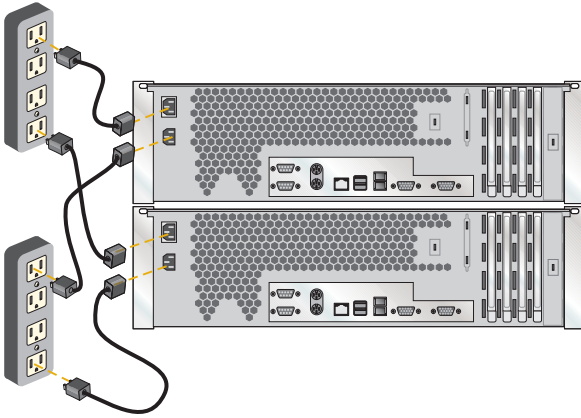
2. エンジンの前面にある電源制御ボタンを押して、エンジンを電源オンします。

電源オン LED



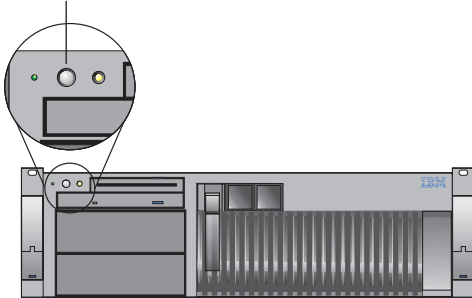
ステップ 5: 電源オンする (G26 のみ)

1. 電源ケーブルを各エンジン後部のコンセントに差し込み、次に異なる給電部のコンセントに差し込みます。



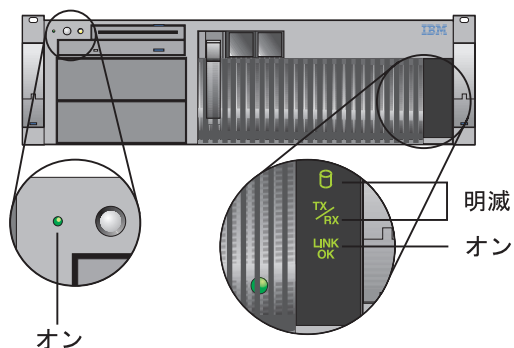
2. エンジンの前面にある電源制御ボタンを押して、エンジンを電源オンします。(エンジンを始動する際の順序をメモしておいてください。シャットダウンは、その逆の順序で行う必要があります。)

電源オン LED



ステップ 6: エンジンの正確な動作を検証する

電源オンした後、初期診断テストが完了するまで、約 5 分間待ってください。LED が、次の図のようにオン状態であることを確認します。オン状態でない場合は、ドキュメンテーション CD に入っている ユーザーズ・リファレンス を参照してください。モデル G26 の Link OK LED は常にオンですが、モデル G01 の Link OK LED は、搭載イーサネット・ポートが使用されている場合のみオンになります。

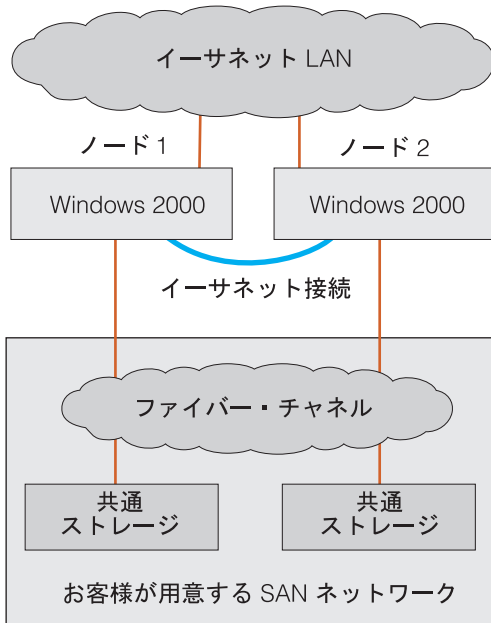


ステップ 7: ソフトウェアの構成

1. 概要

G26 のそれぞれのノードは独自のオペレーティング・システムが搭載された独立したエンジンですが、イーサネット接続によって接続されます。

注: これは概要の一部なので、概要全体については、Documentation CD に入っている **ユーザーズ・リファレンス** をご覧ください。



2. 日付と時間を設定する

以下の ID とパスワードを使用して、それぞれのノードにログオンします。

ユーザー ID: Administrator

パスワード: password

Windows™ の「コントロール パネル」で、それぞれのノードの日付と時刻を設定します。

3. G26 のみ: ノードのコンピューター名を変更する (オプション)

それぞれのノードごとに固有名を設定します。たとえば、NAS300GPrimary と NAS300GJoining とします。次に、両方のノードをリブートします。

4. ストレージをセットアップする

ストレージをセットアップするには、次のツールが必要です。

WWN ファイバー・ユーティリティー (WWN Fibre Utility) - ファイバー接続ストレージ上の論理ドライブ (LUN) を NAS 300G に関連付ける。

ディスク管理 (Disk Management) - シグニチャーを作成し、区画を作成して、ドライブ名を割り当てる。

(ファイバー接続ストレージ上の LUN は、そのドキュメンテーションに従って構成してください。)

詳しい説明は、ユーザーズ・リファレンス の『ストレージのセットアップ』の項を参照してください。

注: クラスタ化をセットアップする場合は、事前にノード間でドライブ名を一致させておく必要があります。

5. ネットワークを構成する

ネットワークを構成するには、次のツールが必要です: 「マイ コンピュータ」、「マイ ネットワーク」。

詳しい説明は、ユーザーズ・リファレンス の『ネットワーキング、クラスタ化、およびストレージ・アクセス・セットアップの完了』の項を参照してください。

ステップ 8: クラスタ化

1. クラスタを作成する

クラスタを作成するには、ツール: クラスタ・セットアップ (Cluster Setup) が必要です。

詳しい説明は、ユーザーズ・リファレンス の『クラスタのセットアップ』の項を参照してください。

注: 最初のノードを構成する時、それに結合するノードはオフ状態にしておく必要があります。

2. クラスタの管理

クラスタ管理の詳しい説明は、ユーザーズ・リファレンス の『クラスタ管理』の項を参照してください。

ロード・バランシングの詳しい説明は、ユーザーズ・リファレンス の『クラスタ・リソースの平衡化』の項を参照してください。

ファイル共有の作成に関する詳細は、ユーザーズ・リファレンス の『クラスタ化ファイル共有の作成 (CIFS および NFS)』を参照してください。

商標

以下は、IBM Corporation もしくは Tivoli Systems Inc. の商標です。

IBM
IBM ロゴ
TotalStorage

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12